

武田山史跡マップ モデルコース(祇園・山本)ルート の概要



御守岩台
台形型の大きな岩があり、近世の城でいう天守台の機能を果たしていたといわれています。また、御守岩台の一段低いところには、城内最大の郭であった「館跡」があります。

犬通し
敵兵の侵入を防ぐため、尾根筋を断ち切った堀切の跡で守。ここにも当時の石垣が残っています。

見張台
2本の浅い溝が廻り込まれた大きな平らな石が残っており、この上に櫓があったといわれています。

出丸
本城から張り出した形で造られた郭で、城の出入り口の守備や監視の目的で築かれました。

城跡(千畳敷)
本丸があったとされるところで、まわりには当時矢に使ったという小竹や、弓や矢をよくすべらせるための櫓が多く植えられています。

武者溜り
城の裏側から攻めてくる敵を迎えうつために武者が隠れていたところです。

見張台から出丸までは急坂!

ちょっと急坂!

御門跡
通路が直角に曲がるように石が積み重ねられており、近世の城の入り口にある「柵型」と同様の働きをしたものと考えられています。

馬返し
ふもとから馬で運んだ物資を、ここからは道が険しいので、人の背で運んだといわれています。

上高間・下高間
観音堂に付属した庭園か休息所のあったところといわれています。特に、上高間南端の大岩からはすばらしい見晴らしです。

馬場跡
やや広くて平らな場所で馬置き場があっただろうと想像されます。

見張台
大きな岩が重なり合っており、ここにも見張りのための櫓があったといわれています。

距離の目安

JR下祇園駅から武田山憩いの森まで	…1900m
武田山憩いの森から頂上まで	…1575m
頂上から出丸まで	…302m
頂上から銀山城跡周辺案内板まで	…2914m
銀山城跡周辺案内板からJR下祇園駅まで	1450m

モデルルート